

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

第2回 宿泊専門委員会 結果概要

1 日時

令和2年12月22日（火） 13:30～14:10

2 場所

県庁東棟5階中会議室

3 出欠状況

出席者 10名（代理出席4名）

欠席者 1名（畑中委員）

4 議事概要

（1）宿泊専門委員会委員等の変更

委員長を福土委員に委嘱したことを報告。

（2）説明・報告事項

①第80回国民スポーツ大会準備経過

②第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項

③「いきいき茨城ゆめ国体」の宿泊関係業務の概要
事務局から説明。

（3）審議事項

第80回国民スポーツ大会宿泊基本計画（案）について、事務局から説明。質疑等はなし。
原案どおり可決。

（4）その他

①今後の国民スポーツ大会開催準備スケジュール

②宿泊施設実態調査等の実施について

③第80回国民スポーツ大会イメージソング等について
事務局から説明。質疑等は以下のとおり。

【福土委員長】

9月に愛知でアジア大会があり、本県での大会開催は10月に予定されるようだが、海外

から、特にアジア圏から紅葉を見に来て、温泉地に宿泊していく方が多い。県旅館ホテル生活衛生同業組合としても前もって組合員に周知することで、協力していかないと大会参加者の客室はまかなっていけないと考える。海外からのお客様に対しても事前に情報を出し、客室を確保していきたい。

【高坂委員】

3月以降に宿泊施設実態調査を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の関係で、宿泊業界は、昨今、休業も出てきている。流動的な面が多々あるので、調査時期については検討し、見極めていただきたい。

青森県の宿泊キャパをみると、茨城県に比べて客室数が少なく7割ほどになっている。客室提供で3分の2が大会参加者で埋まることを考えると、本県の場合は、10月が、8月のねぶた時期に並ぶ行楽シーズンになっており、非常に厳しいだろう。茨城県で県外配宿が延べ1万人以上あったことなどを考えると、青函連携など、他県への配宿も視野に入れて考えていかないとのみ込めないと感じる。隣接県への配宿など、柔軟に考えていく必要があるだろう。

【事務局】

宿泊施設実態調査は早ければ3月頃に実施したいと考えているが、感染症状況などのタイミングを見ながら進めていきたい。

本県の場合、茨城県に比べると、客室のキャパが少ないので、早め早めに検討していかなければならないと考えている。委員の皆さんの御協力をいただきながら進めていく。